HP掲載用

本　田　生　育　調　査

南加賀農林総合事務所
（6月19日現在）

1　生育調査

品種	ID	調査場所	草丈（cm）					㎡当たり茎数（本／㎡）					株当たり茎数（本／株）					葉齢（枚）					葉色				
			本年	前年		平年		本年	前年		平年		本年	前年		平年		本年	前年		平年		本年	前年		平年	
					前年比		平年比			前年比		平年比			前年比		平年比			前年比		平年比			前年比		平年比
コシヒカリ	2	加賀市西島町	46.96	40.45	116%	42.59	110%	398.80	496.19	80%	485.37	82%	22.63	26.85	84%	27.13	83%	9.81	9.44	104%	9.62	102%	4.25	4.50	94%	4.51	94%
コシヒカリ	1	小松市月津町	45.90	35.30	130%	43.88	105%	629.16	510.06	123%	495.27	127%	36.40	29.30	124%	28.46	128%	10.30	9.73	106%	9.81	105%	4.25	4.50	94%	4.53	94%
コシヒカリ	2	小松市長田町	41.45	41.25	100%	40.27	103%	493.52	470.58	105%	480.07	103%	24.35	27.90	87%	26.47	92%	9.76	9.09	107%	9.48	103%	5.00	4.50	111%	4.47	112%
コシヒカリ	3	能美市秋常町	48.15	37.30	129%	43.38	111%	550.46	493.80	111%	501.23	110%	34.80	30.55	114%	29.63	117%	10.30	10.21	101%	9.89	104%	4.75	4.75	100%	4.50	106%
コシヒカリ	4	川北町下先出	40.65	33.77	120%	41.76	97%	401.54	327.33	123%	454.74	88%	21.85	19.21	114%	25.88	84%	9.56	9.03	106%	9.36	102%	5.50	4.25	129%	4.66	118%
コシヒカリ	平均	平　　均	44.62	36.91	121%	42.38	105%	494.70	450.44	110%	483.34	102%	28.01	26.74	105%	27.51	102%	9.95	9.51	105%	9.63	103%	4.75	4.50	106%	4.53	105%
ゆめみづほ	1	加賀市西島町	50.30	42.82	117%	42.18	119%	584.56	418.00	140%	550.03	106%	33.60	26.42	127%	31.98	105%	10.35	9.63	107%	10.36	100%	4.63	5.00	93%	4.66	99%
ゆめみづほ	3	能美市中ノ江町	41.55	37.02	112%	38.03	109%	493.12	429.22	115%	483.02	102%	30.60	25.41	120%	28.64	107%	10.49	9.50	110%	10.11	104%	4.75	4.75	100%	4.67	102%
ゆめみづほ	4	川北町橘	50.10	42.70	117%	42.28	118%	696.61	648.87	107%	541.66	129%	39.35	37.80	104%	31.30	126%	11.16	10.83	103%	9.91	113%	5.50	4.75	116%	4.90	112%
ゆめみづほ	平均	平　　均	47.32	39.86	119%	40.83	116%	591.43	539.05	110%	524.90	113%	34.52	31.61	109%	30.64	113%	10.67	10.16	105%	10.13	105%	4.96	4.75	104%	4.74	105%

2　生育概況

・草丈は、ゆめみづほ（平年比116%）は平年より長く、コシヒカリ（平年比105%）は平年よりやや長い。
・㎡当たり茎数は、ゆめみづほ（平年比113%）は平年よりやや多く、コシヒカリ（平年比102%）は平年並み。
・葉齢は、ゆめみづほ（平年+0.5葉）は平年並み～3日早く、コシヒカリ（平年＋0.3葉）は平年並み～2日早い。
・葉色は全般的に平年よりやや濃い。
・ゆめみづほの一部ほ場で幼穂長0.2 mmが確認され、早いほ場の出穂期は7月19日頃の見込み。

3　病害虫発生状況

・一部ほ場でニカメイチュウ、イナゴが発生し、食害がみられる。

4　今後の管理

・中干し期間中（ゆめみづほ6月末まで、コシヒカリ7月初旬まで、）は、土壌にひび割れができたら適宜入水し、ひび割れが大きくなりすぎない水管理を行い、中干しを継続する。
・葉色が濃く、茎数が多いほ場では中干しを強くする（ひび割れ程度を大きくする）または、中干し期間を1週間程度延長する。
・溝切りを実施し、中干し効果を高めるとともに、水管理の効率化に繋げる。
・ケイ酸質資材を施用し、受光態勢を良くすることで登熟を促す。
・中干し終了後は朝方又は夕方に間断通水を行い、根の活力を維持するため土壌の飽水状態を保つ。